

令和7年度第3回学校運営協議会議事録

さいたま市立大久保小学校

1 日時・場所 [日時] 令和8年2月12日(木) 9:30～11:00

[場所] コンピュータ室

2 出席 委 員 浜中 光夫 (桜区五関自治協力会 会長)
大野 康則 (やつしまニュータウン自治会 会長)
渋谷 克好 (学校施設開放委員会 委員長)
並木 義和 (大久保公民館 館長)
高野裕美子 (主任児童委員)
千木良雅子 (大久保小学校 交通指導員)
星野麻奈美 (大久保小学校 図書ボランティア代表)
橋本由紀子 (大久保小学校チャレンジスクール代表)
海江田なぎさ (大久保中学校 校長)
永平恵美子 (大久保小学校 PTA副会長)
内野多美子 (大久保小学校 校長)
川西 浩之 (大久保小学校 教頭)
三上 和男 (大久保小学校 学校地域連携コーディネーター)
欠席 会 長 田中 隆明 (大久保小学校 PTA会長)
副会長 土橋 勇司 (青少年育成大久保地区会 会長)

3 開会行事

4 学校からの報告等(学校の運営状況現状について)

- ・予算の執行状況
- ・学校評価アンケートの集計結果
- ・学校自己評価システムシートの評価

5 熟議

- ・読書は児童の学びの根底につながる。図書ボランティアの協力などに支えられ、児童が図書に親しむ機会を多く設定できているのがよい。
- ・ICTの活用とともに、引き続き読書の習慣化を進めるとよい。
- ・図書ボランティアとして継続して活動してきた中、このような調査結果に表れているのは喜ばしい。
- ・「配慮ある教育」についての保護者回答は昨年度から下がっているものの、令和5年度から見ると上がっている。
- ・実際の取組等をより多くの保護者が理解できるとよりよい。そのための情報発信等をさらに工夫するとよい。
- ・「地域行事の参加」については、忙しい保護者も参加できる工夫も必要だと感じる。
- ・情報発信により学校の様子がよく伝わってくる。電子と紙双方のよさを活かす

とよい。

- ・学校ボランティアは計画から実現まで迅速に進められた。
- ・学校運営協議会の児童参加等を通して、児童が自分の考えを表現する力がついてきていると感じる。
- ・老朽化した箇所等の修繕を行っている。また、児童のけが等の際に、養護教諭をはじめしっかりと対応してくれるので、保護者として安心する。
- ・地域で不審者情報が挙げた際にも、中学校と連携して迅速に対応して安心できた。
- ・職務についての満足度93%は素晴らしい結果である。満足しているから研修意欲が高く、児童が楽しいと感じる授業実践につながっている。
- ・小規模校の強みを活かして、どの教員も学級を超えて親身に対応してくれている。

6 次年度の学校運営に関する基本的な方針の説明・仮承認

7 連絡

- ・3月実施のあいさつ運動について

8 閉会